

平成29年度事例 I

事例テーマ：○○○○○○○○○○

	フェーズ	切り口・KW	Aさん	Bさん	Cさん
第1問			要因は、①地元の認知度が高く県を代表する銘菓として人気を博していたことから、顧客の期待が高かったため、②かつての商品に勝るとも劣らない品質や食感を確保し昔ながらの味わいを復活させ、顧客の支持を得たため。	要因は、①県を代表する銘菓として人気を博した商品に絞りがつて同じ品質や食感を復活させた事②菓子工業組合から短期間で商標権を譲渡され、県の低利融資支援によって事業再建を急ピッチで進められた事、である。	要因は、X社から商標を引き継いだことで、知名度の高く顧客からの支持を得られた商品を取り扱えたこと、及び、県の融資を得て必要な機器を購入し、以前と同じ品質と食感がある昔ながらの味を復活させたこと、である。
第2問			特徴は、①人手による作業工程を自動化し効率性を高め、製造部門の人員を抑制していること、②商品アイテムを3種類に絞り込み、配送管理や在庫管理負担を軽減していることから営業部門の人員を抑制していること。	特徴は、①社長や専務が部門を統括していることにより意思決定が早い事②機能別組織により社員の専門性を高めることができ効率的に業務に取り組める事③社長と専務が全株式を保有していること、である。	特徴は、①正規社員は役割分担を明確にし核となる業務の専門化を図り、発送や倉庫管理等の補助業務は非正規社員を活用したこと、②製造工程の自動化による効率化で少ない人数で生産できる体制にしたこと、である。
第3問			メリットは、①工場移転による供給能力の向上で、全国市場への展開に向けた生産量の確保が可能になったこと、②HACCPに準拠した生産体制構築による品質面の向上で、全国への取引拡大を図りやすくなったこと、である。	メリットは、①地元企業が誘致対象になっていたことから割安な資金でHACCPに準拠する工場を整備できた事②人手による製造工程の自動化により効率性を高め、3種焼菓子の日産5万個体制を整備できた事、である。	メリットは、①県の支援を得て少ない資金で移転でき、団地内の他企業と研究開発が可能となったこと、②HACCPに準拠しつつ、品質や食感を確保した焼き菓子を大量に生産でき、全国進出が可能となったこと、である。
第4問			障害となるリスクは、①自社店舗による直接販売経験がないため、店舗運営経験やノウハウのある人材がいないこと、②独自で創りあげた商品がないため、新商品開発の経験やノウハウのある人材がいないこと、である。	リスクは、①自社店舗による直販を行っておらず販売ノウハウがない為首都圏へ出店してもうまくいかない可能性がある事②工場が一箇所にしかなく全国市場進出にあたり配送網や割安な配送コストの確保が必要になる事。	リスクは、①創業以来の人材が定年退職を迎えることで、全国進出を推進する人材が不足し進捗が滞る、②生産量増大による工場規模の拡大に対して、十分な生産体制の構築が間に合わず全国進出が進まない、ことである。
第5問			組織的課題は、①人材確保の面で、既存の社員を店舗運営の研修への参加や他社への出向を通じて店舗運営ノウハウを蓄積し、さらに店舗運営経験者の中途採用を積極的に行うこと、②人材育成面で、非正規社員の正社員の登用制度の創設して補助業務以外の業務を担当させる。	課題は、第三の創業期を担う人材の確保と育成を行うことである。具体的には、①次世代の経営者候補を選出し、経営ノウハウを継承すること②社員教育の強化や商品企画開発力の高い人材を中途採用することにより新商品の開発を行うこと③営業の最前線でキャリアを積んだ社長の経験を活用して営業力を強化すること、である。	30億円市場を担える組織となるために世代交代を進めるべきである。具体的には①長期的に組織文化を次世代へ継承するため、人材を選出し経営についての教育をおこなうこと、②新商品を開発するため、必要な組織体制を構築すること、③生産量増加に対応するため、パートの作業範囲を広げるとともにアウトソースを確保すること。